

大正大学

資産

第十三回
チョーマ像

チョーマの肖像画
T.デウーカ著、前田崇訳(1998)
『チョーマドケーレスの生涯』山喜房仏書林より



リードの東洋学会より日本国民に対して贈呈されたチョーマ像の贈呈式は1933年2月22日に本学で執り行われました。記念講演をされた高楠順次郎博士は「この偉大なハンガリーの学者は、生命を賭して仏教学の学問的根底のよりどころを打ち破つた。彼こそ西洋における仏教の偉人とみなされて良い。仏教には人種的偏見は一切無いし、また宗派運動でもないから、眞のキリスト教徒チョーマを喜んで正式に認められた菩薩に加えるのである。」と述べています。

現在、本学図書館に安置されているのはレプリカであり、このとおり仏典の解説に利用されている藏書辞典にも多大な影響を与えていています。

その学的偉業をたたえ、铸造されたのがこの銅像です。ハンガリー国民の友情の証しとして、ハンガリーハンガリーは安置されていました。贈呈当初は本学にある本尊阿弥陀如来の脇立ちとして、少なくとも1ヶ月は安置されていました。贈